



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マンダム

コード番号 4917 URL <https://www.mandom.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 西村 健

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 澤田 正典 TEL 06-6767-5001

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	37,133	13.7	1,645	58.4	2,064	51.5	1,584	62.6
2023年3月期第2四半期	32,652	11.4	1,038	—	1,362	—	974	198.1

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 4,940百万円（△9.6%） 2023年3月期第2四半期 5,463百万円（547.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	35.23	—
2023年3月期第2四半期	21.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	94,562	75,210	72.4
2023年3月期	91,005	71,184	71.6

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 68,431百万円 2023年3月期 65,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,700	8.4	1,460	3.6	2,280	3.3	1,660	73.2	36.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年10月31日）公表いたしました「第2四半期業績予想（個別）と実績との差異及び通期業績予想の修正（連結・個別）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	48,269,212株	2023年3月期	48,269,212株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,300,602株	2023年3月期	3,303,802株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	44,966,670株	2023年3月期2Q	44,974,607株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

2024年3月期の個別業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,200	4.7	1,240	△18.6	990	76.3	22.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

個別業績予想の修正については、本日(2023年10月31日)公表いたしました「第2四半期業績予想(個別)と実績との差異及び通期業績予想の修正(連結・個別)に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行され、社会経済活動の正常化が一段と進むなか、個人消費も持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復を見せました。一方、物価上昇に賃金の伸びが追いつかない状況が続いており、個人消費の下押しリスクが懸念されるなど、先行きは不透明な状況にあります。

当社海外グループの事業エリアであるアジア経済については、東南アジアを中心に景気は概ね堅調に推移した一方で、東アジアについては全体として景気回復の遅れが見られました。

このような経済状況のもと、当社グループは2027年のありたい姿「VISION2027」実現のための「変革・挑戦」期と位置づけた中期経営計画の経営基本方針に基づき諸施策を推進しております。経営基本方針は次のとおりであります。

経営基本方針

- ・ニューノーマルにおけるカテゴリ戦略の進化・挑戦と
ブランド価値向上を徹底できる全社マーケティング革新
- ・インドネシア事業再生のスピーディな完遂と海外事業のビジネスモデル革新
- ・デジタルイノベーションとオープンイノベーションによる新価値創造企業への転換
- ・サステナブル経営を中核とした企業価値向上とお役立ちの進化

当第2四半期連結累計期間の売上高は37,133百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。これは主として海外その他における売上高が好調に推移したことによるものであります。

営業利益は1,645百万円（前年同四半期比58.4%増）となりました。これは主として海外その他における売上総利益の増加によるものであります。この結果、経常利益は2,064百万円（同51.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,584百万円（同62.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績（売上高は外部顧客への売上高）は次のとおりであります。

日本における売上高は19,925百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。これは新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行したことなどにより、社会経済活動の正常化が一段と進み、生活者の外出機会が増加したことで、男性事業の「ギャツビー」ブランドや女性事業の「ビフェスタ」ブランドの売上高が好調に推移したことによるものであります。利益面においては、主として春夏新製品へのマーケティング投資に伴う広告宣伝費の増加により、営業利益は364百万円（同46.5%減）となりました。

インドネシアにおける売上高は6,570百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。これは主として円安により売上高の円換算額が増加したことによるものであります。利益面においては、主として原価率が悪化したことにより、営業損失は721百万円（前年同四半期は370百万円の営業損失）となりました。

海外その他における売上高は10,637百万円（前年同四半期比36.8%増）となりました。これは主としてマレーシアの女性事業をはじめとして東南アジア各国で売上高が増加したことによるものであります。利益面においては、主として売上総利益の増加により、営業利益は2,002百万円（同174.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加などにより94,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,557百万円増加いたしました。負債合計は、流動負債のその他に含まれる未払金が減少したことなどにより19,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ469百万円減少いたしました。また、純資産合計は、為替換算調整勘定の増加などにより75,210百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,026百万円増加し、自己資本比率は72.4%（前連結会計年度末は71.6%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3,320百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には20,802百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は4,334百万円(前年同四半期は3,794百万円の収入)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2,275百万円および減価償却費2,233百万円による増加であります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は950百万円(前年同四半期は516百万円の支出)となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出810百万円による減少であります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は1,065百万円(前年同四半期は1,018百万円の支出)となりました。主な内訳は、配当金の支払額853百万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2023年10月31日)公表いたしました「第2四半期業績予想(個別)と実績との差異及び通期業績予想の修正(連結・個別)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,493	25,187
受取手形及び売掛金	11,196	11,293
商品及び製品	11,744	11,040
仕掛品	480	517
原材料及び貯蔵品	3,303	3,819
その他	1,362	1,364
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	49,573	53,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,706	15,673
機械装置及び運搬具(純額)	6,188	5,765
その他(純額)	2,563	2,844
有形固定資産合計	24,458	24,283
無形固定資産		
のれん	2,820	2,770
その他	4,061	3,772
無形固定資産合計	6,882	6,542
投資その他の資産		
投資有価証券	8,302	8,744
その他	1,795	1,784
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	10,090	10,521
固定資産合計	41,431	41,347
資産合計	91,005	94,562

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,632	3,094
短期借入金	142	130
未払法人税等	414	618
賞与引当金	1,085	1,137
その他の引当金	49	41
その他	8,462	7,713
流動負債合計	13,786	12,734
固定負債		
退職給付に係る負債	2,775	3,234
その他	3,259	3,381
固定負債合計	6,034	6,616
負債合計	19,820	19,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,394	11,394
資本剰余金	11,086	11,084
利益剰余金	47,807	48,537
自己株式	△6,590	△6,583
株主資本合計	63,698	64,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,967	4,011
為替換算調整勘定	△2,701	△161
退職給付に係る調整累計額	161	148
その他の包括利益累計額合計	1,426	3,998
非支配株主持分	6,058	6,779
純資産合計	71,184	75,210
負債純資産合計	91,005	94,562

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	32,652	37,133
売上原価	18,518	21,298
売上総利益	14,134	15,835
販売費及び一般管理費	13,095	14,189
営業利益	1,038	1,645
営業外収益		
受取利息	104	182
受取配当金	47	50
持分法による投資利益	113	231
為替差益	47	—
その他	101	65
営業外収益合計	414	529
営業外費用		
支払利息	10	10
コミットメントフィー	5	4
為替差損	—	78
その他	75	16
営業外費用合計	91	111
経常利益	1,362	2,064
特別利益		
固定資産売却益	3	206
投資有価証券売却益	24	6
特別利益合計	28	213
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	2	1
投資有価証券評価損	—	0
事業構造改善費用	62	—
特別損失合計	65	1
税金等調整前四半期純利益	1,324	2,275
法人税等	372	716
四半期純利益	952	1,558
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△21	△25
親会社株主に帰属する四半期純利益	974	1,584

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	952	1,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	329	44
為替換算調整勘定	4,026	3,236
退職給付に係る調整額	△33	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	187	107
その他の包括利益合計	4,510	3,381
四半期包括利益	5,463	4,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,661	4,155
非支配株主に係る四半期包括利益	801	784

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,324	2,275
減価償却費	2,466	2,233
のれん償却額	122	129
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	412	21
受取利息及び受取配当金	△151	△233
為替差損益 (△は益)	△203	116
持分法による投資損益 (△は益)	△113	△231
投資有価証券売却損益 (△は益)	△24	△6
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△206
売上債権の増減額 (△は増加)	437	462
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△469	1,125
仕入債務の増減額 (△は減少)	274	△638
未払金の増減額 (△は減少)	△556	△473
その他	22	449
小計	3,518	5,024
利息及び配当金の受取額	138	201
利息の支払額	△10	△10
事業構造改善費用の支払額	—	△645
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	147	△235
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,794	4,334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,307	△1,423
定期預金の払戻による収入	1,618	1,278
有形固定資産の取得による支出	△706	△810
無形固定資産の取得による支出	△188	△157
有形固定資産の売却による収入	4	209
投資有価証券の取得による支出	△4	△54
投資有価証券の売却及び償還による収入	70	7
その他	△3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△516	△950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△21	△24
自己株式の取得による支出	△0	—
リース債務の返済による支出	△125	△128
配当金の支払額	△813	△853
非支配株主への配当金の支払額	—	△58
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△57	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,018	△1,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,268	1,001
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,527	3,320
現金及び現金同等物の期首残高	16,015	17,481
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,542	20,802

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社は当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,790	6,089	7,773	32,652	—	32,652
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,583	1,774	167	4,525	△4,525	—
計	21,373	7,863	7,941	37,178	△4,525	32,652
セグメント利益 又は損失 (△)	681	△370	728	1,038	—	1,038

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	インドネシア	海外その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,925	6,570	10,637	37,133	—	37,133
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,628	2,268	173	5,070	△5,070	—
計	22,554	8,838	10,811	42,203	△5,070	37,133
セグメント利益 又は損失 (△)	364	△721	2,002	1,645	—	1,645

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。